

## 1 目的

自他ともに健康で安全な生活をしようとする意識を育て高めるために、学校外で活躍されている方々から直接指導や助言を受けつつ、動植物を含め、“限りある命”の尊さについて考えます。

## 2 内容

### (1) 命を尊ぶ

- 平成21年度からウサギの飼育活動を始め、学校飼育動物ふれあい教室（1年生対象）や飼育教室（3年生対象）で、獣医師からウサギについて学ぶ機会を設けています。そして、学んだことを生かし、飼育委員会の児童と3年生の全児童が交代で飼育小屋の掃除やえさやりを行っています。ウサギとのふれあい活動を通して、生き物を育てていく大変さや大切さを体験することができました。

### (2) 命を守る

- 児童自らが食に関心を持ち、自分の生活に生かすことができるように栄養教諭による食の指導を全学年で継続して行っています。また、学校歯科医や歯科衛生士による歯科指導や学校保健委員会を通して健康について考えています。健康な体づくりと食の関わりを学習し、日頃から健康な生活をしようとする意欲を高めました。
- 児童のセルフ・ディフェンスを高めるために、外部講師による防犯教室を実施して、不審者による被害に遭わないためにはどうすればよいのか等を学びました。また、災害に対する訓練等の防災学習を計画的に行い、出校日には、着衣水泳教室（4年）を開催して水難事故の防止にも努めました。



【着衣水泳教室】

### (3) 命を育む

- 学年花壇で、花や野菜を種・苗から開花・収穫まで継続して栽培しました。また、学校園では、学童農業体験クラブ員の方々に畑の整備や指導をしていただき、保護者にも参加をしていただき、サツマイモやジャガイモの植え付け、畑の除草、収穫等を体験しました。学童農業体験の活動を通して、学童農業体験クラブ員の方々から育てる大変さや食べ物の大切さを学ぶとともに、収穫の喜びと感謝の気持ちを高めました。

## 3 評価

- 児童は自分たちがウサギの世話をすることで、命がかけがえのない尊いものであるということを強く実感することができました。命の尊さを感じ取り、命を大切にしようとする気持ちをより強くもつことができるようになりました。
- 防犯・防災学習を通して、児童が自らの判断で危険を避けたり、より安全な行動をとったりしようとするセルフ・ディフェンスの意識を高めることができました。
- 花や野菜を継続して栽培することにより、児童は命を育てる大変さや食べ物の大切さを実感することができました。また、栽培活動での作業を通して、友達と力を合わせるとより大きな成果が得られることを体験し、進んで協力しようとするようになってきました。

## 4 課題

- より専門的な知識・技術をもつ外部講師やボランティアの方々から児童の発達段階に応じて指導をいただくことで、命の大切さについて考えるとともに、命を守るための手立てについても、継続して学んでいきたいと思えます。
- 命を育む活動では、地域の方々との連携を深め、児童が学ぶ意欲を支える支援を適切に行い継続していくことで、活動の充実を図りたいと考えます。